

しみ・あざ

の治療を受けられる患者さまへ

レーザー治療 スキンケアマニュアル

LASER TREATMENT SKIN CARE MANUAL

治療の成功には、
患者さまのご協力が必要です

レーザー治療の成功には、治療後の ていねいなスキンケアが必要です

レーザー治療を受けた患者さまの中には

「治療後すぐにキレイな肌になる」と

お考えの方がいるかもしれません。

しかし、多くの患者さまが、治療した箇所が

また茶色っぽくなるPIH(炎症後色素沈着)を経験しています*。

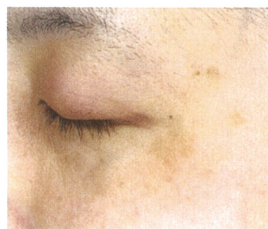
炎症後色素沈着を軽減するためには

自宅での適切なスキンケアも重要です。

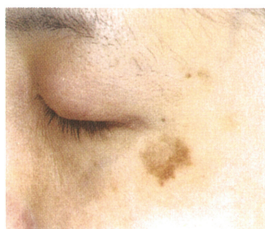
※参考 西田美穂、大慈弥弘之:老人性色素斑の標準的レーザー治療,
皮膚科医・形成外科医のためのレーザー治療スタンダード(河野太郎/編):119-130, 201

炎症後色素沈着とは

レーザー照射による炎症のため、もともとのシミより色が増強して見える状態です。
照射後1ヶ月をピークとし、3ヶ月以降から次第に色調が落ち着いてきます。



治療前

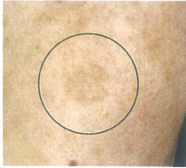


炎症後色素沈着

「炎症後色素沈着」を軽減するスキンケアについては裏面をご確認ください

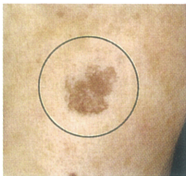
0日目

レーザーを照射



照射終了直後、患部は茶褐色になります。

乾燥させないように軟膏やワセリン等を塗り、
物理的な刺激から保護するために
ガーゼや絆創膏等で傷を（ _____ 日間）おおいます。



徐々に、かさぶたができてきます。

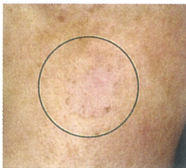
無理にはがしたりせず、
自然にとれるまで待ちましょう。

説明を
受けました



1~2週間後

かさぶたがはがれます



かさぶたがはがれて、皮膚がピンク色の状態になります。
この時期はデリケートな状態です。過度な刺激により
炎症後色素沈着が生じる場合があります。

炎症後色素沈着を軽減するためにできるだけ
治療部位に刺激を与えないようなスキンケアが重要です。

日焼け止めは

かさぶたが取れた（当日・ _____ 日後）から使用開始

美白剤は

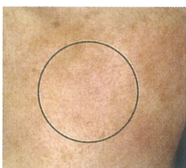
かさぶたが取れた（当日・ _____ 日後）から使用開始

説明を
受けました



約1ヵ月後

患部が周囲の皮膚となじんできます



ピンク色の皮膚が徐々に周囲の皮膚となじんできます。
しばらくは炎症後色素沈着を軽減するための
スキンケアを継続してください。

炎症後色素沈着が生じた場合でもケアを継続して下さい。

説明を
受けました



「炎症後色素沈着」を軽減するための スキンケア4つのポイント

1 紫外線対策をして肌を守る

日焼け止めをこまめに塗るなど紫外線対策をしましょう。ノンケミカル(紫外線吸収剤不使用)などの刺激が少ない日焼け止めがおすすめです。

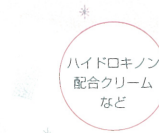


2 摩擦などの、肌への刺激を防ぐ

まずはこすらないで、できるだけ触らないこと。洗顔料の摩擦も皮膚への刺激・炎症につながります。ゴシゴシ洗顔や化粧水などの叩き込みはせず、スキンケアは「優しく、そっと、すりこまない」が重要です。

3 美白剤を使用する

メラニン色素の生成をできる限り抑えるための美白剤を使用しましょう。



4 乳液やクリームでしっかり保湿する

治療部位は特に乾燥しやすく、デリケートな状態です。しっかりと保湿しましょう。

レーザー照射後のケアについて、詳しくは中面をご覧ください

●お気軽にお問い合わせください